

## 第15回 免震フォーラム 「巨大地震に対して免震・制振建築はどうあるべきか」

日時：2012年8月31日(金) 13:00～17:15 フォーラム、17:20～ 意見交換会 ※12:20 受付開始

会場：工学院大学 新宿キャンパス 3階 URBAN TECH HALL

(住所：東京都新宿区西新宿1-24-2)

定員：230名 (8月24日締切、定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：フォーラム [会員:2,500円、非会員:3,500円、学生:500円]

意見交換会 [会員:3,000円、非会員:4,000円]

※ 参加費は、当日受付にて徴収いたします。

※ 意見交換会の会場は、同キャンパス内です。当日受付にてご連絡いたします。

主催：(社)日本免震構造協会

共催：(社)日本建築構造技術者協会、JSCA 建築構造士登録更新のための評価点10点

後援：(社)日本建築学会、(社)日本建築家協会、(社)日本建築士事務所協会連合会、

(社)日本建築士会連合会、(財)日本建築防災協会、(社)日本建設業連合会、NPO 法人建築技術支援協会、

NPO 法人耐震総合安全機構 (申請中/順不同)

### ◇趣旨◇

未曾有の被害をもたらした東日本大震災を教訓に、今後起こり得る巨大地震の震源域の見直しが行われています。内閣府からは南海トラフ地震の震度分布・津波高、文部科学省からは首都直下地震の新たな震源域に基づく震度分布が今年3月に相次いで公表されました。いずれもそれまでの想定値を大幅に上回るもので、地震による影響範囲も拡大し、南海トラフ地震では長周期地震動の発生も懸念されています。

これらの巨大地震に対して、免震・制振建築はどのように設計されるべきか、デバイスはどうか、フェイルセーフ機構のあり方など、東日本大震災の経験も踏まえて、今後のあるべき姿を議論する場として本フォーラムを企画しました。

### ◇プログラム◇

時間割	内容・講演者
13:00～13:05	主催者代表挨拶 日本免震構造協会 会長 西川 孝夫
13:05～13:55	基調講演「首都直下地震の姿に迫る」 東京大学 平田 直
13:55～14:30	基調講演「東日本大震災から学ぶ今後の免震構造のあり方」 北海道大学 菊地 優
14:30～14:40	休憩(10分間)
14:40～15:05	講演「東日本大震災で実証された超高層ビルの長周期・長時間地震動対策」 大成建設 細澤 治
15:05～15:30	講演「巨大地震発生に対する免震・制振デバイスに求められる性能」 織本構造設計 中澤 昭伸
15:30～15:55	講演「意匠設計から見た免震エキスパンションについて」 芦原太郎建築事務所 小林 仁
15:55～16:20	講演「東日本大震災における免震建物居住者アンケート調査」 NTT ファシリティーズ 豊田 耕造
16:20～16:35	休憩(15分間)
16:35～17:15	質疑・討論 (パネルディスカッション)
17:15	閉会、17:20～ 意見交換会

## 申込方法

当協会ホームページの「講習会等のご案内」ページよりお申込下さい。  
追って、「申込番号」が記載された申込確認のメールをお送りします。  
フォーラムの当日は、その申込確認メールを印刷して受付までお持ち下さい。

## 会場案内

会場：工学院大学 新宿キャンパス 3階 URBAN TECH HALL

住所：新宿区西新宿1-24-2

交通：■ JR「新宿駅」下車、西口より徒歩 5分

■ 京王線、小田急線、地下鉄各線「新宿駅」下車、徒歩 5分

■ 都営大江戸線「都庁前駅」下車、徒歩 3分

■ 西武新宿線「西武新宿駅」下車、徒歩 10分



## 問合せ先

一般社団法人日本免震構造協会 事務局

電話.: 03-5775-5432、E-mail : [jssi@jssi.or.jp](mailto:jssi@jssi.or.jp)